

6. 東海（地域別調査機関：三菱UFJリサーチ&コンサルティング株式会社）

（－：回答が存在しない、＊：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
家計動向 関連 (東海)	◎	百貨店（販売促進担当）	来客数の動き	・行動規制がないため、2019年並みに戻ってきている。
	◎	スーパー（販売担当）	来客数の動き	・新型コロナウイルスの新規感染者数が増えて来客数が減少していたが、夏休みに入りたくさんの来店があり、必然的に売上も上がった。
	○	一般小売店〔土産〕（経営者）	来客数の動き	・新型コロナウイルス変異株が次々現れ新型コロナウイルスの新規感染者数が大幅に増える現象が、社会・経済を大きく痛めつけている。観光客は、マイカー利用の若年層がほぼ新型コロナウイルス感染症発生前の水準に戻ったが中高年層はまだまだで、観光バスもちらほらである。全体では75%の戻りである。
	○	スーパー（店員）	単価の動き	・新型コロナウイルス感染拡大の影響で帰省をキャンセルした人が多かったのか、お盆商戦では贈答用の果物が余り売れなかった。暑さの影響もあり、正午から夕方にかけての来客数も減少傾向がみられた。
	○	コンビニ（本部管理担当）	来客数の動き	・8月の売上は前年比104.6%と好調であった。天候に恵まれない日が多かったが、行動制限のないことから前年の反動で来客数への好影響となった。前年比でみれば、小売業界は回復基調にある。
	○	衣料品専門店（店長）	来客数の動き	・来客数や売上は微増である。派遣労働を取り仕切る会社の注文が増えてきており、仕事の増加を実感する。
	○	衣料品専門店（売場担当）	販売量の動き	・衣替えでスーツを2点購入する客や、下取りが段々と定着してきたため下取り衣料を持込んで新たにスーツを購入する客も増えてきた。できるだけ安くという客の意識は変わらないが、6～7月にかけてよりも重衣料がかなり動いており、目標予算は全て達成している。
	○	家電量販店（店員）	単価の動き	・値上げの影響もあり単価が底上げされている。結果として前年並みの売上となり悪くない。
	○	乗用車販売店（営業担当）	来客数の動き	・新型コロナウイルス感染症の第7波で新型コロナウイルスの新規感染者数は急増したにもかかわらず、来客数は減っていない。客の様子も、新型コロナウイルス感染症に対する意識が変わってきていることを実感する。ただし、提供する商品の供給が遅れており、以前より良くはなっていないが回復したとまではいえない。
	○	住関連専門店（営業担当）	販売量の動き	・小規模及び大規模改修のリフォーム工事、企業の設備投資や商業施設のリニューアル及び新店の引き合いが多くなっている。
	○	その他専門店〔雑貨〕（店長）	来客数の動き	・店内外の集客イベントも実施され、街中への集客が戻った。
	○	その他飲食〔仕出し〕（経営者）	お客様の様子	・新型コロナウイルス感染症、ウクライナ等の問題を抱えつつ進んでいくしかないという現実が、日常になってきた。
	○	観光型ホテル（経営者）	来客数の動き	・県民割などがあり、地元の客が近場志向で多く利用してくれている。3か月前よりも新型コロナウイルスの感染が拡大しているなか、家族連れで利用してくれているため、やや良くなっている。
	○	観光型ホテル（支配人）	来客数の動き	・宿泊、レストランの個人利用が改善した。宴会など法人利用は依然として少ない。
	○	旅行代理店（営業担当）	販売量の動き	・社員旅行など会社行事の動きは悪いが、小グループの任意団体や有志団体では、宿泊旅行が実施され始めている。
	○	テーマパーク（職員）	お客様の様子	・ウィズコロナが定着しつつある。
○	美顔美容室（経営者）	販売量の動き	・毎年8～12月にかけて行うセット商品のキャンペーン販売が始まり、同時に人気商品のキャンペーンもあり、その購入が多くあった。	
○	美容室（経営者）	お客様の様子	・今まで新型コロナウイルスの感染予防で行動制限をしていた人が、少しずつ動き出している。	
○	美容室（経営者）	来客数の動き	・新型コロナウイルスの新規感染者数は増えているが、慣れもあり少しずつ客の出足が良くなっている。	

<input type="checkbox"/>	商店街（代表者）	来客数の動き	・週末の商店街の人出は多く変化はない。ただし、客単価は依然として低い。
<input type="checkbox"/>	商店街（代表者）	それ以外	・取引先の卸売、小売店では廃業や閉店が相次いでいる。
<input type="checkbox"/>	商店街（代表者）	お客様の様子	・ウクライナ問題や物価上昇があるため、どちらともいえない。
<input type="checkbox"/>	一般小売店〔高級精肉〕（常勤監査役）	販売量の動き	・新型コロナウイルス感染症終息の見通しがいまだ立たない。
<input type="checkbox"/>	一般小売店〔結納品〕（経営者）	販売量の動き	・新型コロナウイルスと猛暑で客が出てこない。
<input type="checkbox"/>	一般小売店〔生花〕（経営者）	来客数の動き	・平日の来客は特に少ない。高齢の客も段々と買物に出てこなくなった。新型コロナウイルス感染症の影響は大きい。
<input type="checkbox"/>	一般小売店〔贈答品〕（経営者）	お客様の様子	・夏場に動く商品は結構動いていたが、個人客はコロナ禍で少し停滞気味である。しかし、法人関係では少し動きがあつて伸びており、全体としては変わらない状況である。個人の財布のひもは固く、会社の消費は少し余裕が出てきた様子である。
<input type="checkbox"/>	一般小売店〔酒類〕（経営者）	販売量の動き	・飲食店に客が来店しても長くは滞在しないためアルコール販売量が増えない。配達員の勤務態勢は、交代で休ませたり夕方前に仕事が終了してしまう状況である。
<input type="checkbox"/>	一般小売店〔書店〕（営業担当）	お客様の様子	・多少円高傾向にあるが、まだ先が読めないため買い控えがある。
<input type="checkbox"/>	百貨店（売場主任）	それ以外	・セールが終わり客の購買意欲も少し落ち着いている。定番商品をメーカーに問い合わせても在庫がなく、取扱店舗で商品が行ったり来たりしている状態である。客の要望で取り寄せをしても、購入はせず在庫を確認するだけの客が多く、売上には結び付いていない。
<input type="checkbox"/>	百貨店（総務担当）	お客様の様子	・時計などの高額品は引き続き好調を維持したものの、新型コロナウイルス感染症の第7波の影響により、高齢者の来店や買上が急減したことに加え、お盆などの移動や旅行が手控えられたこともあり、土産需要が想定を下回る形となった。
<input type="checkbox"/>	百貨店（営業担当）	来客数の動き	・来客数は前年を上回ってきてはいるが、2019年と比較すると20%弱減少している。今月になって新型コロナウイルスの新規感染者数も過去最高を記録しており、例年の来客数までは当分戻らない。
<input type="checkbox"/>	百貨店（営業担当）	来客数の動き	・新型コロナウイルス感染症の影響があるのかは分からないが、金の使い方に変化がある。
<input type="checkbox"/>	百貨店（販売担当）	販売量の動き	・新型コロナウイルス感染症の第7波の影響で来客数が減少した。中高単価の商品は比較的安定して稼働したが、全体的な買上率は伸びてこなかった。
<input type="checkbox"/>	百貨店（計画担当）	お客様の様子	・相変わらずコロナ禍が続いており、来客数が増えてこない。富裕層の購買動向は特に変化なく、低迷はみられない。
<input type="checkbox"/>	スーパー（店長）	お客様の様子	・雨天の日が多かったことで来客数が前年より3%減少し、また、買い控えにより買上点数も減った結果、売上減少となった。
<input type="checkbox"/>	スーパー（営業企画）	お客様の様子	・買上点数、来客数共に前年を下回っているが、3か月前とほぼ同じ状況で推移している。
<input type="checkbox"/>	コンビニ（企画担当）	販売量の動き	・新型コロナウイルスの新規感染者数は増加しているが、人の動きはそれほど減少していないため、前年を上回る状態が継続している。
<input type="checkbox"/>	コンビニ（エリア担当）	販売量の動き	・新型コロナウイルス感染症と天候により、上向きになりきれない。
<input type="checkbox"/>	コンビニ（店長）	来客数の動き	・来客数は前年の20～25%増加で推移しているが、新型コロナウイルス感染症発生前の数字よりまだ1割程度マイナスである。この状況が3か月ほど続いている。

<input type="checkbox"/>	コンビニ（商品企画担当）	来客数の動き	・3年ぶりに行動制限を伴わないお盆を迎え、帰省などで店舗を利用する客は瞬間的に増加したものの、来客数としては新型コロナウイルス感染症発生前に比して7割強と、3か月前からのすう勢に変化はみられない。
<input type="checkbox"/>	衣料品専門店（売場担当）	単価の動き	・客単価は全体的に低い傾向にあるため、1人当たりの購入点数に変化がなくても、売上は減少している。
<input type="checkbox"/>	乗用車販売店（経営者）	販売量の動き	・成約数は3か月前と比べると若干増えたものの、相変わらず納車に時間が掛かることには変わりはない。厳しい状況が続いている。
<input type="checkbox"/>	乗用車販売店（経営者）	販売量の動き	・受注はできるものの、納車時期の遅れが改善しない。
<input type="checkbox"/>	一般レストラン（経営者）	お客様の様子	・客や周囲に話を聞くと、いろいろ旅行や遊びに出掛けたり、買物をしている様子であり、景気はやや良い状況に近い。
<input type="checkbox"/>	一般レストラン（従業員）	来客数の動き	・注文する料理の単価がぐっと下がっている。
<input type="checkbox"/>	その他飲食〔ワイン輸入〕（経営企画担当）	販売量の動き	・コロナ禍でも過度な自粛ムードは薄れ、飲食店や個人消費も新型コロナウイルス感染症発生前の水準にほぼ戻っている。
<input type="checkbox"/>	旅行代理店（経営者）	販売量の動き	・現在は県民割による旅行が続いているため好調である。
<input type="checkbox"/>	旅行代理店（経営者）	それ以外	・新型コロナウイルス感染症で落ち込んだ消費は、外出規制がなくなり回復し始めているが、以前のような外国人観光客の本格的な回復には至っていない。外国人特定技能者への外食、宿泊などの人数枠も当初予定より減らすという事態になっており、サービス業の回復はまだまだ先になる。
<input type="checkbox"/>	旅行代理店（経営者）	お客様の様子	・新型コロナウイルスの感染状況が最悪の割には、キャンセルは少なかった。しかし、ここ数週間は新規もない。家族感染が多いため新規予約や先の見通しが難しいとか、旅行を計画する雰囲気ではないと客からは言われる。また、新型コロナウイルスに効く特効薬があれば何も不安なく旅行を計画できると言われた。県民割の効果も薄れていて余り有効ではないため、やめるべきである。
<input type="checkbox"/>	旅行代理店（営業担当）	お客様の様子	・新型コロナウイルス感染症の第7波により新型コロナウイルスの新規感染者数は依然高止まりである。周りの関係者や客でも陽性者になって一定期間の隔離が生じ、旅行取消しや業務の人員に支障を来すという日々が続いている。個人旅行は、第6波に比べれば取消し件数は少ないが、新たな旅行計画も少ないままである。
<input type="checkbox"/>	タクシー運転手	来客数の動き	・悪いままで止まっている。
<input type="checkbox"/>	タクシー運転手	お客様の様子	・今月に入ってから当県でも新型コロナウイルスの新規感染者数が非常に多いが、緊急事態宣言や行動規制は出でおらず、湿度が高く暑い日が多かったため利用客が多かった。特に、お盆を挟んだ10日間ほどは帰省や行楽地などへ出掛ける客も非常に多く、デパート、ビヤガーデンや夜の店にも結構人出があつて良かった。地元の大きなイベントも、3年ぶりに開催された。
<input type="checkbox"/>	通信会社（サービス担当）	販売量の動き	・新型コロナウイルス感染症の関係でリモートワークが増え、光回線の新規申込みが増えた。
<input type="checkbox"/>	通信会社（営業担当）	販売量の動き	・機器の搬入時期が決まり、工事の準備を進めている。
<input type="checkbox"/>	テーマパーク（職員）	来客数の動き	・天候が不安定で、客の動きが安定しない。
<input type="checkbox"/>	テーマパーク職員（総務担当）	販売量の動き	・新型コロナウイルス感染症の第7波の影響で人出は減少しているが、販売面では余り変化がない状態である。
<input type="checkbox"/>	観光名所（案内係）	お客様の様子	・夏休みで少し人出が戻っているが、諸物価上昇のため、とても長くは続かない。
<input type="checkbox"/>	その他レジャー施設〔鉄道会社〕（職員）	来客数の動き	・新型コロナウイルスの新規感染者数の増加で、お盆期間中に実施の臨時列車は空振りとなり、その他にも観光目的で利用しやすい便の編成両数を増やしたものの、集客につながらなかった。

□	その他レジヤ [スポーツレ ジャー紙] (広 告担当)	お客様の様子	・来客数は悪くないものの、購入層の来店が鈍っている。
□	住宅販売会社 (従業員)	販売量の動き	・コロナ禍で新型コロナウイルスの新規感染者数も増加傾向であるが、生活形態も安定している。
□	その他住宅[不 動産賃貸及び売 買] (営業)	お客様の様子	・夏季休暇が例年より多く、結果が芳しくなかった。
▲	商店街(代表 者)	お客様の様子	・一時期落ち着いていた新型コロナウイルスの新規感染者数が爆発的に増えてしまったため、予約のキャンセルや、宴会等が中止になってまた元の状態になった飲食店が多い。
▲	一般小売店[生 活用品] (販売 担当)	お客様の様子	・輸入品の価格が軒並み上がり、客も買い控えているように見受けられる。
▲	百貨店(業績管 理担当)	来客数の動き	・土日やお盆休みを中心に来店客は増えてきたが、その分平日の来店の動きが鈍い。
▲	スーパー(店 員)	販売量の動き	・原価が非常に上がってきていて、売価を上げざるを得ない状況にある。売っていた商品も動かなくなってしまい、そういった品目が多いため全体的に商品が動かず、売上には本当に結び付いてこない。
▲	スーパー(店 員)	販売量の動き	・買上点数が一向に上向いてこない。
▲	コンビニ(エリ ア担当)	来客数の動き	・8月は売上の最盛期であるはずが、新型コロナウイルスの感染拡大により来客数が再び下降傾向にある。政府の行動規制等がなかった分、お盆の催事や週末の行楽客などの来店はあるものの、メイン客層のオフィスワーカー等の来店が少なかったことにより、平日の来客数が減少している。
▲	コンビニ(店 長)	それ以外	・原材料の価格高騰に伴う値上げが引き続き多い。
▲	コンビニ(店 員)	来客数の動き	・今月はお盆休みがあり、来客数が減って弁当や総菜の廃棄が目立ち、売上にも影響が出た。
▲	家電量販店(フ ランチャイズ経 営者)	販売量の動き	・今年ではエアコン商戦が早く、6月の売上額は前年比プラスだったが、7～8月にかけては売上の落ち込みと来客数の減少で前年比3割減少であった。店でも新型コロナウイルス感染者が出て、感染拡大の第7波はとても身近に感じる。来客数も少ない上に大物商材も売れず2重苦である。
▲	乗用車販売店 (従業員)	販売量の動き	・新車の納期がかなり掛かっており、販売台数も鈍化している。販売停止中の車や納期が1～2年掛かる車も多数あり、客が車を買いつらい状況が続いている。
▲	乗用車販売店 (従業員)	販売量の動き	・今月も電気・ガス料金、燃料価格等の生活インフラに関わるコストの上昇が客には強く感じられる1か月となってしまった。今必要な物かどうかという判断が強く、なかなか車の購入まで考えることは難しいと言われる。
▲	その他専門店 [貴金属] (経 営者)	来客数の動き	・新型コロナウイルスの新規感染者数の増加に伴い、来客数や街中の通行客が減少している。警戒心からか、特に高齢者の外出が激減している。
▲	高級レストラン (経営企画)	来客数の動き	・7月下旬からの新型コロナウイルス新規感染者数の増加に伴い、急激に来客数が減少している。お盆や休日、8月下旬の新型コロナウイルス新規感染者数の減少時には前年以上の来客数があるが、8月としては計画より低い結果となる見込みである。
▲	一般レストラン (経営者)	それ以外	・食品、飲料、酒類といった全ての仕入れにおいて、価格が上がっている。
▲	都市型ホテル (経営者)	お客様の様子	・せっかく予約が入ってもキャンセルが続く。
▲	都市型ホテル (総支配人)	来客数の動き	・新型コロナウイルスの感染拡大で、宴会は8月の法人予約がキャンセルとなった。レストランは夜が弱い。宿泊は稼働してはいるが、単価が上がらず厳しい。

▲	レジャーランド (職員)	来客数の動き	・新型コロナウイルス感染症の第7波により新規感染者数は連日最多を更新するものの、行動制限がないため、過去2年の8月と比べるとマイナスの影響は限定的である。新型コロナウイルス感染症発生以前の7割程度の水準である。感染拡大により従業員にも感染者や濃厚接触者が多くなり、営業体制が調わず機会損失となるケースが発生した。
▲	ゴルフ場（支配人）	来客数の動き	・8月はすっきりと晴れた日が続かず、入場者数は予算に大きく届かなかった。天候の悪かった前年の8月よりは好転したものの、好調に推移した3か月前と比べると残念な結果となった。
▲	理美容室（経営者）	来客数の動き	・今月は忙しい時期のはずであるが、客が余り来てくれなかった。
▲	美容室（経営者）	お客様の様子	・やはり新型コロナウイルス感染症の影響である。これだけは本当に大変である。
▲	設計事務所（職員）	お客様の様子	・客からは景気についての話は全く聞かない。
▲	住宅販売会社 (従業員)	単価の動き	・物価上昇が止まらない。いろいろな企業努力をしても限界がある。購入特典などに回す余裕がない。客も買い控えの傾向にある。
▲	住宅販売会社 (従業員)	競争相手の様子	・新築を担当する部署の人員が、リフォームの部署に異動となっている。
▲	その他住宅〔住宅管理〕 (経営者)	それ以外	・不動産業の社長は、新築も中古住宅もなかなか売れず目標達成ができずとうとう人手を減らしたと、業界の大変さを語っていた。これまではローンを組んで住宅を購入していた客層でも、今は先々のことを考えて賃貸物件を探す客が増えているそうである。明るい話がなく、見通しが立たないのである。
×	商店街（代表者）	来客数の動き	・とにかく来客数が極端に少なく、更に悪くなっているため、販売量や売上につながらない現状である。
×	百貨店（経理担当）	お客様の様子	・今月に入ってから新型コロナウイルスの感染拡大が急激に進み、個人、企業共に出控え傾向がみられるほか、飲食レジャー関連の消費マインドが減退している。
×	スーパー（店長）	来客数の動き	・来客数が前年の95%以下で推移し、買上点数も95%以下で推移している。
×	スーパー（販売担当）	販売量の動き	・季節の変わり目で秋物商材が売れ出した。商品の値上げは続いているが、依然売上は予算未達である。
×	コンビニ（店長）	販売量の動き	・新型コロナウイルスの感染拡大で、地元の各種団体の行事が相次いで中止となった。その影響で売上も低迷している。
×	コンビニ（店長）	来客数の動き	・1日当たり来客数が、前年と比べて50人程度少ない。新型コロナウイルスの新規感染者数の急増、物価高騰、天候不順などが理由として考えられるが、それにしてもひどすぎる。おにぎり1個だけ、又はコーヒー1杯だけという客が増えたことも、今月の傾向であった。
×	衣料品専門店 (経営者)	お客様の様子	・新型コロナウイルス感染症が収束しないまま連日の猛暑で外出を控えている上に諸物価の上昇で、以前は半額にすると一見客でもせっかくだからと購入してくれる雰囲気があったが、今は全くない。
×	衣料品専門店 (販売企画担当)	販売量の動き	・注文数が激減している。
×	乗用車販売店 (従業員)	販売量の動き	・今月は販売が全く振るわなかった。8月とはいえ少な過ぎる。最近の傾向からみると今月はとても悪かった。成約もなく、これほど悪い月はない。
×	乗用車販売店 (従業員)	販売量の動き	・製造業がものづくりをできない状況にあるため、非常に景気が悪い。
×	一般レストラン (経営者)	来客数の動き	・売上は例年と比べ2割ほど落ち込んでいる。特に来客が少なく、客単価も少し落ち込んでいる。
×	バー（経営者）	来客数の動き	・新型コロナウイルス感染症の第7波の広がり、一段と客足が伸びない。ますます減っている。
×	都市型ホテル (営業担当)	お客様の様子	・新型コロナウイルスの感染拡大により、法人宴会、同窓会などの宴会需要が5月から6月までと比べて2割ほど減少している。レストランも同様に予約が減少している。

	×	通信会社（企画担当）	販売量の動き	・7～8月にかけて、新規契約者数はここ数年で最低レベルとなっており、解約件数も高止まりしている。折込チラシや相談会の反響も大きく減少した。
	×	パチンコ店（経営者）	販売量の動き	・来客数の動きから、悪くなっている。
	×	設計事務所（経営者）	来客数の動き	・現時点で案件がほとんどない。
	×	住宅販売会社（経営者）	競争相手の様子	・土地の売物件が少なく大手の会社が高値で購入していくため、中小の分譲業者には土地がなかなか回らず購入できない状況である。
企業 動向 関連 (東海)	◎	—	—	—
	○	金属製品製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・受注量が増加している製品がある。しかし、原材料の値上がりに対して販売価格は従来そのまま納入せざるを得ない製品もある。
	○	電気機械器具製造業（営業担当）	受注量や販売量の動き	・新製品の影響もあり、若干上向きである。
	○	不動産業（経営者）	それ以外	・例年同様に晴れの日が多く、下旬には徐々に新型コロナウイルスの新規感染者数が減少傾向となり、外出や遠出をする人が徐々に増加傾向になっている。厳しい状況ではあるが、今月の売上は前年を上回る状況となっている。
	○	公認会計士	競争相手の様子	・仕入れなど物価上昇の影響を、少しずつ売価に反映できる企業が増えている。新型コロナウイルスの新規感染者数は相変わらず減っていないが、市場自体がこの状態に慣れてきている。人流も以前と比べると増えており、対面のサービス業では来店客が少しずつ増えてきている。しかし、物の流れについては、材料の納品状況が改善していない業種もある。
	○	会計事務所（職員）	取引先の様子	・長らく雇用調整助成金を受給している飲食店でも、休職する従業員が減ってきている。法人については、取引先からの発注が増え、利益を伸ばしているところが多い。
	□	化学工業（総務秘書）	それ以外	・夏季にリベンジ消費や旅行を楽しむ人が増え、大勢として景気は上向きであったが、物価高や天候不順が冷や水を浴びせている。元総理の襲撃事件や国葬に対する論争なども、景気にはマイナスのムードが漂った。
	□	金属製品製造業（従業員）	受注価格や販売価格の動き	・仕事量は、プロジェクトが動き出していることもあってか、さほど増減がなさそうだが、ちょうど原材料が価格高騰する時期なので、価格転嫁が遅れている分、収益は上がっていない。
	□	一般機械器具製造業（営業担当）	受注量や販売量の動き	・北米自動車部品向けの設備投資は、引き合いの数は減っていないが、今月は受注が少なかった。
	□	電気機械器具製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・新型コロナウイルス感染症が収束しない影響は大きく、客先で新たにリニューアル予定であった案件の延期や閉店が出ている。設備投資に関しては現在余り良くない状態で、当社の売上も少ない。
	□	電気機械器具製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・売上は23%以上の伸びだが、材料、素材の値上がりも23%を超えている。鋼材使用量等にも変動がない。
	□	輸送用機械器具製造業（品質管理担当）	受注価格や販売価格の動き	・部品、原材料の値上がりが止まらない。以前の1.5～2倍くらいになっている物もたくさんある。
	□	建設業（営業担当）	取引先の様子	・この2年ほど新型コロナウイルス感染症の影響で中止や延期になっていた仕事でも、コロナ禍とはいえやらざるを得ないという状況になると、発注若しくは実行できる形になってきたため、過去の分と今年度予算とで仕事は増えてきている。
	□	輸送業（経営者）	受注量や販売量の動き	・自動車関連製造業の物量が回復しない。
	□	輸送業（従業員）	受注量や販売量の動き	・荷主の業種によって、受注量が増えているところと減っているところがある。自動車関連の荷主からの引き合いは、大幅に減っている。当社あるいは全体での仕事量はやや上向きであるが、受注量が減った荷主がいつ回復するかは不透明である。

□	輸送業（エリア担当）	受注量や販売量の動き	・ 季節的な変動はあるものの、例年どおりである。
□	輸送業（エリア担当）	それ以外	・ 来春オープン予定の新事業所の建築工事が進んでいるが、材料費、建築費などが値上がりし、かつ、再値上げする間隔が非常に短い。しゅん工までまだ様々な作業、工事があるが、当初予算よりも雪だるま式に増えており、既存事業所の修繕工事にも波及している。これでは景気は良くならない。
□	通信業（法人営業担当）	それ以外	・ 最低賃金や路線価の上昇、年金財政の黒字といった良い話題もあるが、ロシアの侵略戦争による物価の上昇や米国金利引上げの影響で我が国でも景気後退の懸念があり、消費者マインドを冷やす。
□	金融業（従業員）	それ以外	・ 身の回りの様子からも物価の上昇が生活に大きな影響を与えている。また、新型コロナウイルスの新規感染者数も減っていないことから、景気は変わっていない。
□	金融業（企画担当）	取引先の様子	・ 多くの物品価格が上がってきており、コスト増が顕著になっている業種が多い。価格に転嫁できない企業も多く、コスト増が企業業績に与える影響は引き続き大きい。
□	不動産業（経営者）	受注価格や販売価格の動き	・ 中古物件の価格が緩やかに下降している。
□	広告代理店（制作担当）	取引先の様子	・ 新型コロナウイルスの新規感染者数が急に増加したため、企画中だった広告の案件も、保留か中止になっている。
□	行政書士	取引先の様子	・ パソコンを通じての商売になったため、心としての付き合いが薄れ金次第のようである。
□	その他非製造業 [ソフト開発] (経営者)	競争相手の様子	・ 全体的には7月と変わりなく、全て慎重な動きである。どこかで先駆けする企業が現れると面白いが、そのタイミングが近づいているようにも思われる。当社としても悩ましいところである。
▲	食料品製造業 (営業担当)	受注量や販売量の動き	・ 受注量、販売量共に減少している。
▲	パルプ・紙・紙 加工品製造業 (顧問)	受注量や販売量の動き	・ 原材料、輸送費やその他の物品の値上げ、円安、ウクライナ問題、新型コロナウイルス感染症の影響もあり、自動車関連等の受注量、販売量が減少している。物の動きが悪く、景気はやや悪い。
▲	化学工業（営業担当）	受注量や販売量の動き	・ 液晶塗料の需要が低調であり、容器使用量は減少している。
▲	窯業・土石製品 製造業（社員）	取引先の様子	・ 原材料の入手難への懸念から各社より先行注文があったが、特に自動車関係等では、電子部品の入手難で生産量が落ちているため、納期の先延ばしを依頼されるようになった。
▲	鉄鋼業（経営者）	受注量や販売量の動き	・ 受注量、販売量共に通常時より2割ほど落ち込んでいる。
▲	電気機械器具製造業（総務担当）	それ以外	・ 電子部品の需給問題により、機器生産が計画どおりとなるか不安な状況が続いている。また、原材料の価格高騰により利益が圧迫され、前年比で減益は避けられない。
▲	輸送用機械器具製造業（経営者）	取引先の様子	・ 様々な部品供給が不十分で、想定した組立て予定どおりに製品ができていない。計画の7～8割くらいの状態である。
▲	輸送用機械器具製造業（管理担当）	それ以外	・ いろいろな物の値上げがあり、収入が変わらないなかでの物価高で苦しい。
▲	建設業（役員）	受注量や販売量の動き	・ 新築分譲マンション、分譲住宅共に契約件数が伸びていない。中古のリノベーション再販も不調で、契約件数が伸び悩んでいる。
▲	通信業（総務担当）	それ以外	・ 物価高騰、値上げラッシュにより、消費者の購買意欲がそがれ始めている。買い控えや優先度の低い消費が抑制されている。
▲	通信業（法人営業担当）	それ以外	・ 飲食店を営む友人から8月は1人も客が来ない日が何日かあったと聞いた。また、よく行く店では一旦延びた営業時間がまた短くなった。新型コロナウイルス新規感染者数が増えており誰も食事に誘えなくては、仕方がない状況である。

	▲	金融業（従業員）	取引先の様子	・景気としては比較的横ばいに近い状態であるが、円安のため貿易関連の事業者からは、現在の傾向は余り良くないと聞く。	
	▲	不動産業（開発担当）	受注価格や販売価格の動き	・分譲住宅市況が少しずつ鈍く、悪化している。	
	▲	その他サービス業 [ソフト開発]（社員）	それ以外	・食品の単価が値上がりしており、特に異常気象のため野菜などが値上がりしている。一方でガソリン価格は下がり始めている。	
	×	新聞販売店 [広告]（店主）	受注量や販売量の動き	・折込チラシの出稿が激減している。	
雇用 関連 (東海)	◎	—	—	—	
	○	人材派遣会社（営業担当）	求人数の動き	・年度の半期折り返しに合わせた派遣募集が多い。	
	○	職業安定所（所長）	求人数の動き	・新規求人数が、前年同月比で緩やかながら増加が続いている。	
	○	職業安定所（職員）	求人数の動き	・管内の主産業である製造業が、新型コロナウイルス感染症発生前と同程度の求人数になってきている。	
	○	民間職業紹介機関（営業担当）	採用者数の動き	・企業側の採用意欲は、外部環境の変化がありながらも旺盛で、優秀な人材の確保に向けて施策を進めている状況である。売手市場の様相は、より鮮明になってきている。	
	□	人材派遣会社（経営企画）	周辺企業の様子	・開発活動は活発で、開発支援需要は引き続き旺盛である。新型コロナウイルス感染症の第7波による休業者が多数出たが、収束方向にある。	
	□	人材派遣業（営業担当）	周辺企業の様子	・相変わらずの新型コロナウイルス感染症への不安により、企業も攻めの態勢に転換できない状況である。人手不足、新型コロナウイルスの感染再拡大の影響から、当面はこの状況が継続する。	
	□	人材派遣会社（企画統括）	求人数の動き	・新規求人数は前年同期比でやや増加しているが、大きな改善はみられない。	
	□	人材派遣会社（営業担当）	求人数の動き	・求人数は3か月前比では減少しているが、前年同月比では増加している。	
	□	アウトソーシング企業（エリア担当）	周辺企業の様子	・自動車業界は、依然部品供給・半導体不足が改善されず、工場の生産調整で稼働停止が続く。構内請負業や労働者派遣業から派遣される労働者は残業が見込めず、忙しい業種へ転職する動きも見られる。	
	□	新聞社 [求人広告]（営業担当）	それ以外	・新型コロナウイルス感染症、円安、ウクライナ問題など解決の見通しが立たない事案がある。	
	□	新聞社 [求人広告]（営業担当）	周辺企業の様子	・長引くコロナ禍とウクライナ危機の影響で、地元経済はずっと停滞している。観光施策で一時は上向いたが、すぐに中止になり元に戻った。さらに半導体不足や原料高も加わって景気は低く落ち込んだままである。大手企業には好業績のところもあるが、中小企業の多くは厳しい状況で、店舗の入れ替わりも多い。	
	□	職業安定所（職員）	求人数の動き	・新規求人数は3か月前と比べると微増である。宿泊、飲食業では3か月ぶりに増加がみられたが、製造業では数か月ぶりに減少となった業種が目立った。円安の影響が出ているようである。	
	□	職業安定所（職員）	求人数の動き	・有効求人数と有効求職者数共に減少したが、有効求職者数の減少幅が大きいいため、有効求人倍率は若干上昇した。	
		▲	人材派遣会社（社員）	求人数の動き	・新型コロナウイルスの新規感染者数の増加で予約のキャンセルが相次ぎ、求人数も減った。
		▲	職業安定所（職員）	周辺企業の様子	・ガソリン価格の高騰により必要経費が上昇し、経営を圧迫している。中国でのロックダウンに伴う半導体の供給不足により生産が遅延している。物価上昇による消費の冷え込みが影響し、売上が減少している。
	×	—	—	—	